

「豊橋市まちなか図書館（仮称）について語ろう」意見交換会

1. 意見交換会概要

開催日時	場所	参加人数
平成26年6月21日（土） 10:00～11:30	豊橋市市役所121会議室	21名
平成26年6月24日（火） 19:00～21:00	職員会館5階	21名
平成26年6月28日（土） 10:00～12:00	豊橋市市役所121会議室	17名
平成26年7月3日（火） 19:00～21:00	職員会館5階	20名

2. 意見の概要（同様の意見は集約してあります。）

まちなか図書館（仮称）の基本方針・基本計画について

○全体像について

- ・（街に出たついでに）図書館も寄りたくなるような魅力的な施設にしてほしい。
- ・市街地から離れて住んでいる人も来るような魅力的な施設にしてほしい。
- ・目的に「多くの人が集い交流」とあるが、本当に人は集まるのか。建物をつくれればよいとは、安易ではないかと思う。
- ・豊橋市にとって一番いい図書館とは何なのか、私たちもそのことを意識して意見を出していきたい。
- ・少子高齢化の中で人をどう呼ぶか。郊外から来る人には駐車場をどうするかなど、地に足を付けて考えることが、末長く利用できる図書館にするには大切だ。
- ・まちなか図書館では、他にはない居場所づくりをしてほしい。図書館は人の知的、精神的活動を満たす力を持っている。一方で、金食い虫でもある。立地、使う人を踏まえ、10年、20年先を見据えた居場所づくりをしていくべきだ。
- ・作る必要がはっきりわかるような図書館をつくってほしい。
- ・まちなかでしかできない、枠を超えた図書館を目指してほしい。
- ・従来の図書館と違うもの、インパクトのあるものにしてほしい。例えば、電子書籍、様々な機器を利用できるものも考えるべきだ。
- ・この図書館に来て、人生が変わったと思うような図書館。
- ・図書館は、“はこ”（建物）も重要となる。再開発組合には再開発ビルを思い切ったデザインにしてもらいたい。

○空間について

- ・ 建物内に一休みできる場所も欲しい。
- ・ 2層程度を想定、とあるが、吹き抜けの空間や屋上なら屋上庭園など、心地よい空間をつくってほしい。
- ・ 地元の木材なども使ってほしい。
- ・ 長居できる居心地の良い空間、食事、話ができ、人と人とが触れ合える空間がいい。
- ・ お洒落すぎるものでなく、ゆっくり閲覧できるものを希望する。
- ・ 飲食しながら読書に重点を置きすぎると、閲覧席が不足すると考えられる。
- ・ 棚が大きすぎるのはこまる。(自分で手に取りたい)
- ・ いろいろな人が、気軽に訪れることができるものにしてほしい。
- ・ 話ができる空間も整備して欲しい。(コミュニケーションを学ぶところが必要な時代)
- ・ 図書館は静かなほうがよいと思う。
- ・ 図書館は再開発ビルの1階に置いてほしい。
- ・ 車いす、ベビーカーも広々通れると良い。
- ・ 障害者の方にも利用しやすい、居心地の良い施設をつくるために、意見を取り入れてほしい。
- ・ 障害者にとってはコミュニケーションのシステムが必要である。すべての障害者(聴覚障害者だけでなく)にとってバリアフリーとなるようにしてもらいたい。
- ・ 本を通じたコミュニケーションの場所の提供を願う。
- ・ 広い図書館は足腰の悪い人には使い勝手が悪い。空間の使い方を上手にもらいたい。
- ・ 居心地の良さも人それぞれ違う。ソファ等使いづらい人もいる。
- ・ 色々なところに、椅子等たくさん置いてほしい。
- ・ 喫煙所はどのようになるのか。喫煙ルーム等の整備を願う。
- ・ 居心地の良さは各世代によって違ってくる。
- ・ 子どもが静かに過ごせるようなものが居心地がよい。
- ・ 子どもにとって悪影響のある施設では困る。(LED照明のブルーライト、タブレット端末の電磁波等。)
- ・ 明るく開放的な空間になればと思う。

○蔵書・運営に関すること

- ・ どんな本を置か、市民の意見を聞いて決めてほしい。
- ・ 蔵書を少なくして、良書を紹介する展示会(ショールーム)の場のようなものが良い。蔵書10万冊は多すぎて、狭苦しいと感じるかもしれない。

- ・ 専門の知識を持つ方で施設を運営すべき。
- ・ 発信型の図書館にして欲しい。
- ・ 本を利用したイベントも面白いと思う。
- ・ まちなか図書館には文学以外の図書（中央図書館にはある）を用意し、本を利用したワークショップなどを行う。
- ・ 図書館は接客サービスも大切だと思う。

○図書館の利用者に関すること

- ・ 図書館に若者が集ってもらい、そこでいろんなことを（マナーも含め）学んでほしい。大事に使ってもらえるように育てていくことも必要だと思う。
- ・ 特色のある図書館にするには、ターゲットを絞ることが必要。豊橋市の人口構成、将来像と照らし合わせて、どこの世代を手厚くするか考えると良い。
- ・ ターゲットは絞らない方が良い。誰でも居心地のよい空間をつくってほしい。
- ・ 駅に近いということで、日頃図書館サービスを受けにくい人を対象とすべきと思う。
- ・ まちなかに来てくれる人とは、どのような人か考える必要がある。
 - ① 育て世代の女性…この時期に子どもに本を読む習慣できる。親子でと利用でき、ライフステージを広げられる施設が考えられる。
 - ② ビジネスマン、高校生、大学生…ビジネスマンは利用時間の関係上図書館を利用できない。そのため開館時間を長めにし、情報交換の場所とするのはどうか。また、その方々に、高校生、大学生向けにワークショップ等を行ってもらい、将来何ができるのか、インターンシップ的な事も可能であると考えられる。
 - ③ セカンドライフ（退職者）世代…再開発ビルにはマンションができ、都心のマンションには高齢の方々が住まわれることが多い。そのため、そうした人々の“知的財産”を有効活用できる図書館とするのも良いと思う。

○周辺施設との連携に関すること

- ・ まちなかに図書館ができるのは喜ばしい。豊橋は娯楽施設、商業施設がバラバラで歩いて行ける距離にない。通勤の帰りに寄れる場所がよい。複合施設だと尚嬉しい。
- ・ PLAT、美術博物館など、他の公共施設との棲み分け、連携は考えていくべきだと思う。
- ・ 図書館というと本を中心に考えてしまうが、その土地の情報をわかりやすくするフラッグシップの様な役割も果たしてほしい。一歩先に行く図書館像を考えたい。
- ・ 図書館だけで、もしくは店だけで人を呼びこむのは大変。公と民が良い意味で合

体して市を盛り上げることができたらいい。

- ・ 広場を整備するという事なので、出入りを自由にしてもらいたい。外の広場と中の図書館との一体感を出してほしい。また、回廊等を作り、人の動線を考えてほしい。
- ・ 2層となっているので、図書館の位置が1、2階ならば広場との連携は可能。3、4階となっても屋上庭園等も考えられるのでは。平面的な考えだけでなく、立体的な考えも取り入れてもらいたい。
- ・ 賑やかな商業施設と図書館は連携しない。公園との連携を望む。
- ・ 市民館などもできることはある。もっと活用していくべきだと思った。駅に近い市民館についても、ネットワーク化してほしい。また、ここにこの図書室の認知度も低いのでもっとPRするべきだと思う。
- ・ 他の図書館と同様に、県図書館で借りたものを、返却できるようにしてほしい。

○交通アクセスに関する事

- ・ 豊橋の公共施設は車社会を想定してつくられている。豊橋の人は歩くのが嫌いだ。人が歩かない町は寂れる。人が歩く仕組みを考えるべきだ。
- ・ 公共交通機関との連携は考えるべきだ。
- ・ 駅前大通は大きいので動線が切れてしまう。豊橋は歩きにくい。
- ・ 高齢者は行きたくても行けないという状況にある。良い施設で、便利に行けるのであれば、みんな利用すると思う。
- ・ 豊橋駅からのルートの説明が必要。立地を活かしたルート案内をしっかりともらいたい。

まちなか図書館（仮称）の整備に関する事

○市民からの意見聴取・広報に関する事

- ・ 市民の皆さんは自分たちから積極的にイメージを出してほしい。市役所はランドデザインの素案を早く示すべきではと思っている。
- ・ 施設整備期間が平成34年度までになっているが、その間で市民に意見を聞くような機会を検討してほしい。
- ・ 今までの内容をその都度教えてほしい。
- ・ 市民参加が少ないのではないか、この程度の人数ではなかなか意見が出てこないのではと感じる。
- ・ デジタル環境が整っていない人に対するの広報も検討してほしい。

○まちなか図書館（仮称）整備の進め方に関する事

- ・ 利用者と図書館職員の意見を大事にして、計画を進めて欲しい。
(図書館を愛する人のための施設に)
- ・ 広場も一体的に整備するという事で、市も再開発組合に入って主体的に発言できるようにしてほしい。

まちづくりに関すること

○中心市街地に関すること

- ・ 市街地の商店街の人々のために税金を払っているのではない。商店街の人は自ら投資をするべきだ。
- ・ 広場でイベントの実施とあるが、高層階がマンションになるということから難しいのではないかと思う。広場は緑地として残してほしい。
- ・ コンパクトで居心地のいいまちづくりを目指して欲しい。既存施設の洗い直しをしてリニューアルもして欲しい。
- ・ まちなか図書館の運営と狙いは中心市街地のにぎわいということと理解している。これは、図書館のイメージとマッチしづらい。図書館はにぎわいの元となることができるのか疑問を抱いている。
- ・ 人口が少なくなっていく中で、高齢の方のコミュニティの場となりお金を落とす仕組みができるといいと思う。
- ・ 豊橋で一番やってほしいことは福祉である。

○市政に関すること

- ・ 少子化が進んでいる今、公共施設の運営面が大切になってくる。新しい公共施設として図書館が必要なのかももう一度考え直してほしい。
- ・ 現在ある施設を有効に活用してほしい。